

JICA兵庫シニアOV会 会報

第55号

2025年5月31日発行


今年は寒い日が続き、突然暑くなり、1年が2季になった様だと言われている、最近では熱中症が心配されるなど、体調管理が難しくなっております。

そんな中、前号（第54号2024年12月2日発行）以降の活動の状況をお知らせお知らせします。御一読下さい。

— 内容 —

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 新旧会長挨拶 | 4. 25年度の活動計画 |
| 2. 役員会 | 5. 神戸国際交流フェアー |
| 3. 総会 | 6. 会員便り |

1. 新旧会長挨拶

新会長ご挨拶	村原健三
<p>伝統あるJICA兵庫シニアOV会の会長を仰せつかり、身の引き締まる思いをしています。</p> <p>私はこれまで2回JICA海外ボランティアを経験しました。1回目は10年前にパプアニューギニアのUPNG大学で日本語教育に携わりました。この国には800以上の部族と言語が存在し、部族によっては男系社会であったり、女系社会であったりと、文化や制度が大きく異なっており、その多様性に驚かされ、また楽しませて頂きました。</p> <p>2回目はエジプトのカイロにあるアズハル大学で日本語を教えました。1日5回のお祈りやラマダンといったイスラム文化に触れ、人々の素朴な優しさを感じるとともに、悠久の古代エジプト遺跡の中に見る古代の世界観や生き生きとした生活に感動しました。</p> <p>会員の皆様もそれぞれ海外で貴重な経験をされたことと思います。私たちの経験を一人でも多くの方にお伝えし、国際理解が一層深まれば幸いに存じます。</p> <p>このOV会が皆様にとってご活躍の場であり、また楽しい居場所となりますよう努めたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	

退任のご挨拶と帰国報告会への参加協力について

前会長 北村義雄

過日行われました春期の総会で新会長への交代が承認されました。2年間の在任期間中いろいろとご支援、ご協力いただきありがとうございました。

新会長の村原OVは以前に会の総務を担当する副会長で会のことについて熟知されていますので今後の活動をご期待いただくとともに皆様方におかれましてはなお一層のご支援、ご協力をお願いします。

さて、当会の喫緊の課題としては、新規加入者の獲得です。そのため直近の帰国隊員に当会について関心を持っていただくため、帰国報告を行う機会を設け現地で体験したホットな気持ちをいち早く会員や一般市民に伝えていただくよう働きかけをしていました。今後は総会時のみならず本部において帰国報告会が行われます。また、各地区にあっても帰国隊員の報告を楽しみにしています。これらを通じ帰国隊員との交流を深めることができます。ついては帰国報告会への皆様方の参加と支援並びに帰国隊員への激励など今後ともよろしくをお願いします。

2. 役員会

2025年2月8日開催

1. 春季総会の議題について

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1-1. 各地区の年間事業 | 1-2. 会計報告と監査結果 |
| 1-3. 帰国報告（募集） | 1-4. 年間事業計画 |
| 1-5. 役員交代と新役員募集 | |

2. 検討事項

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 2-1. 神戸国際交流フェアについて | 2-2. 派遣者や帰国者への当会の広報 |
| 2-3. JICA関西倉庫保管写真の引き上げ | |

などについて報告、議論がされた。

この中で、新たに帰国報告会を開催し、帰国者が発表できる場を設ける案が提案された。

3. 総会（第46回）

2025年4月26日開催

JICA関西から市民参加協力課 浅田瑠璃氏の参加を得て、副会長石坂氏の司会で、JICA関西2階 ブリーフィングルームで24名の参加者を得て開催された。

なお、総会後に懇親会が開催され、19人の参加で和やかに懇談した。

（1）会長挨拶

北村会長から開会の挨拶があり、昨年の秋総会（2024年12月）以降の主な活動の報告がされた。

（2）帰国報告 浅田瑠璃さんと酒井正人さん2名の方から帰国報告があった。

浅田瑠璃さん 現地文化と日本文化との差異の理解から「多文化共生」について

話された。

酒井正人さん 「海外経験をどう人生に反映させるか」との題目で報告があった。

また、酒井さんと一緒に活動されるサランさん（モンゴル人）
の当総会・懇親会へのオブザーバー参加があった。

（３）２０２４年度事業報告

北村会長からの全般報告、会計報告、会計監査報告、会長・幹事の選任 が報告
され総会参加者の拍手で承認された。

新会長は村原氏、新書記は高地氏

（４）２０２５年度事業・活動計画

新会長の村原氏から全体の活動計画、各地区（東地区、神戸地区、西地区）の
代表から各地区の活動計画が報告された。

なお、本年度の活動計画一覧は次の項で記します。

（５）その他

特段の意見・質問が無く、出席者の拍手で各議事・報告・計画を承認した。

その後、北村前会長、尾崎前書記の退任の挨拶があった。

４．２５年度の活動計画

2025年度 活動計画表

番号	時 期	活 動 名	場 所	担当地区
1	5月24日	神戸国際交流フェア	JICA関西	本部
2	6月8日	佐用町国際理解講座講師派遣	佐用情報文化センター	西地区
3	7月頃	加古川市野口公民館講師派遣	加古川市野口公民館	西地区
4	7～8月頃	JICA兵庫シニアOV会帰国報告会	JICA関西	本部
5	8月24日	赤穂市国際理解講座＋ミニ写真展	赤穂市立図書館	西地区
6	9月6日	土曜ティーサロン講演会講師派遣	神戸学生青年センター	神戸地区
7	9月24～27日	六甲道トーク＆写真展	神戸市灘区文化センター	神戸地区
8	9～12月頃	いなみ野学園講師派遣	兵庫県いなみ野学園	西地区
9	9～12月頃	高砂市松陽学園講師派遣	高砂市高齢者大学松陽学園	西地区
10	10月4日	加古川市国際協力理解セミナー2025	カピル21ビル市民交流広場	西地区
11	10～11月頃	JICA 関西秋祭り出店	JICA関西	本部
12	10～11月頃	宝塚国際理解講演会	宝塚市西(または東) 公民館	東地区
13	2026年2月7日	土曜ティーサロン講演会講師派遣	神戸学生青年センター	神戸地区

活動計画がめじろ押しです。特にJICA関西の秋祭りでは会員皆さんの参加が期待されて
います。

５．神戸国際交流フェアー

２０２５年５月２４日参加・出店

JICA関西で開催され、ステージでの音楽あり、出店あり、パネルディスカッションあり、
写真展ありと賑やかに開催された。この中で当会の参加は下記のとおり。

- (1) 「世界の不思議クイズ」 at 講堂 (ステージイベント)
- (2) 「うちわ作り」 at 講堂 (ブース出展)
- (3) 「綿菓子」 at 講堂 (ブース出展)
- (4) 「世界に羽ばたくボランティア」 at ブリーフィングルーム
- (5) 「民族衣装体験」 at ホール・広報展示室
- (6) 「OV会写真展」 at 講堂



世界不思議クイズ
北村前会長のプレゼンで3題



うちわ作り
作っているのはウクライナ人女性



綿菓子
よく売れた



「世界に羽ばたくボランティア」
パネルディスカッション



受付と「民族衣装体験」





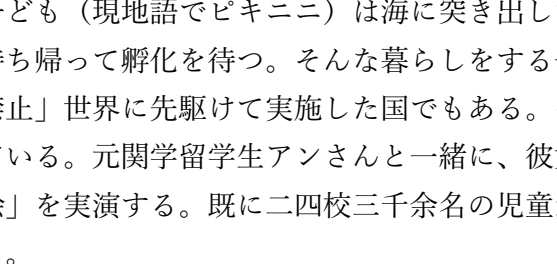
写真展




お手玉教室
北村前会長の指導

6. 会員便り

エジプトで遭遇した異文化(1) -名前-	2021年度5次隊(日本語教育) 村原健三
<p>エジプト人の男性は約5000万人ですが、その名前の種類は少なく、「アハマド」「ムハマド」「マフムード」で約半数を占めます。自分の名前の次に父親の名前を書きますが、それでも識別が困難な場合はその次に祖父の名前を書きます。例えば自分の名前がアハマド、お父さんの名前がムハマド、おじいさんの名前がマフムードであれば「アハマド・ムハマド・マフムード」になります。これでもまだ分かり辛いですね。その場合は曾祖父の名前を書きます。「アハマド・ムハマド・マフムード・ナセル」。</p> <p>これでやっと識別出来るようになりました。</p>	
<p>日本語学科の学生の名前を覚えるのが大変で、顔写真を撮らせてもらって一覧表にし、寝る前にこれを見て顔と名前を覚えようとしたのですが、アハマド、ムハマド・・・と唱えているとすぐに快眠に誘われました。</p>	

バヌアツに魅せられて	仲 誠一 (2005年秋 観光)
<p>南太平洋の島バヌアツ共和国、つれあいと一緒に2年間、日本からの観光客を増やす観光開発でお世話になった。「百聞は一見に如かず」23島の風俗習慣を見て回った。</p>	
<p>バヌアツは裕福な国ではないが、過去二度『世界一幸せな国』に選ばれた。電気ガス水道の普及率は4割、コンビニもなければ自動車のない離島がある。</p>	
<p>自然を大切に、自分たちの文化・慣習を守り、子ども（現地語でピキニニ）は海に突き出した樹上から飛び込んで泳ぎを覚え、ウミガメの卵を持ち帰って孵化を待つ。そんな暮らしをする子どもたちが、南の島にいる。「プラスチック使用禁止」世界に先駆けて実施した国でもある。それを伝えたくて小学校に出向いて出前授業を行っている。元関学留学生アンさんと一緒に、彼女が英語でプレゼンを行い、砂に字を書く文化「砂絵」を実演する。既に二四校三千余名の児童が授業をうけた。私の夢は両国の姉妹校をつくること。</p>	

スペイン巡礼路を歩いて	2015年4次隊 ベトナム 小林憲昭	
昨年5月末から7月始めの45日かけてスペイン巡礼路の内、一番有名なフランス人の道を一人で歩いた。巡礼者はイスラム圏を除く世界各地から来ていた。		
私が歩いたのは、ピレネー東麓のフランス側の町から、ピレネー山脈を越え、スペイン北西部のSantiago de Compostelaの大聖堂まで780Kmで、これを1日平均23Km、34日間で歩くのが標準だが、私は36日で歩き、途中4日の休養日を設け合計40日で計画した。		
巡礼中は、老若男女皆同じ目的を持つ"仲間"であり、非常にフレンドリーであった。私が楽しく言葉を交わしたのは南米、北米、大洋州、アジア、ヨーロッパなど20ヶ国余りの巡礼者達であった。		
アジア人の巡礼者では韓国人の若者が多く、ブームの様だ。一方、日本人は極めて少なく、台湾や中国よりも少なかった。全長歩かなくても、最後の約110Kmを歩けば巡礼を味わい、証明書をもらえる。日本人の若者に、海外に出て世界各地の人と交流することを勧めたい。		
途中トラブルもあったが、解決しながら、計画通り歩くことができ、達成感を味い、次への目標を得ることができた。		

編集後記

広報担当併任を受け、初めて活動を編集しました。不足な点などお気づきのことがあれば是非お知らせ下さい。本会報は年2回と随時報を出す予定です。

また、JICAの活動と関係なくとも、現在どの様な活動をされているのか原稿を常時募集しています。広報担当までお寄せ下さい。 (小林)

ホームページ：JICA兵庫シニアOV会 (<http://jhso.daa.jp/wp/>)

メールアドレス：mail@jhso.org

広報担当Eメール：kobayashi.noriaki23@gmail.com